



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成30年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 J A L U X

コード番号 2729 URL <https://www.jalux.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 込山 雅弘

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 森泉 洋介 TEL 03-6367-8822

四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	86,927	17.3	2,587	23.4	2,738	18.3	1,526	18.1
30年3月期第2四半期	74,117	12.1	2,097	27.4	2,315	36.5	1,292	29.4

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 1,805百万円 (23.9%) 30年3月期第2四半期 1,457百万円 (126.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	120.72	-
30年3月期第2四半期	102.20	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	49,720	24,469	45.8
30年3月期	49,013	23,634	44.8

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 22,795百万円 30年3月期 21,968百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	-	0.00	-	55.00	55.00
31年3月期	-	0.00	-	-	-
31年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	4.3	5,000	6.2	5,500	6.5	3,000	11.4	237.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無  
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期2Q	12,775,000株	30年3月期	12,775,000株
31年3月期2Q	131,374株	30年3月期	131,298株
31年3月期2Q	12,643,669株	30年3月期2Q	12,643,742株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる事項については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(追加情報) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、海外情勢の先行き懸念などがあるものの、企業収益や雇用環境の改善に加え、インバウンド需要の伸長を背景に景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような環境の下、当社グループの事業概況は、以下のとおりとなりました。

売上高は、主に航空機エンジン部品販売、空港店舗及び免税事業の増収などにより、前年同期比12,810百万円増の86,927百万円（117.3%）となりました。

売上総利益は、売上高の増加により、前年同期比1,373百万円増の13,344百万円（111.5%）となりました。

営業利益は、人件費や空港店舗・免税店舗の売上増に伴う歩合家賃の増加など、販売費及び一般管理費が増加したことなどにより、前年同期比489百万円増の2,587百万円（123.4%）となりました。

経常利益は、持分法による投資利益の増加など営業外収益が増加した一方で、為替差損の増加など営業外費用も増加したことなどにより、前年同期比422百万円増の2,738百万円（118.3%）となりました。

これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比234百万円増の1,526百万円（118.1%）となりました。

連結業績 (金額単位：百万円)	前第2四半期 (平成29年4～9月)	当第2四半期 (平成30年4～9月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	74,117	86,927	117.3	12,810
売上総利益	11,971	13,344	111.5	1,373
営業利益	2,097	2,587	123.4	489
経常利益	2,315	2,738	118.3	422
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,292	1,526	118.1	234

[セグメントの概況]

セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。各業績数値は、セグメント間の内部売上高及び振替高、配賦不能営業費用（管理部門の費用等）調整前の金額です。

① 航空・空港関連事業

当セグメントでは、主に航空機や航空機部品などの販売、空港用特殊車両や整備機材などの販売、海外拠点における航空機エンジンリース事業、海外空港の運営受託などを行っています。

航空・空港関連は、主力である重工業向け航空機エンジン部品や産業用ガスタービン部品などの販売が増加したほか、海外（シンガポール）における航空機エンジンリース事業の拡大などにより、増収増益となりました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高37,986百万円、営業利益665百万円となり、前年同期比、増収・増益となりました。

航空・空港関連事業 (金額単位：百万円)	前第2四半期 (平成29年4～9月)	当第2四半期 (平成30年4～9月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	28,647	37,986	132.6	9,339
営業利益	381	665	174.7	284

② ライフサービス事業

当セグメントでは、主に不動産関連での不動産販売・分譲・仲介・賃貸、施設管理、介護関連施設の運営事業、保険関連での損害・生命保険の保険代理店業、機械・資材関連での特殊車両や印刷・用紙・包材などの販売、環境関連での道路関連資機材の販売などを行っています。

不動産関連では、国内不動産販売が減少した一方で、海外（タイ）におけるサービス付アパートメントは増収となりました。保険関連は、大手保険代理店からの業務受託などにより保険代理店BPO事業\*が拡大し、増収増益となりました。機械・資材関連は、特殊車両の販売が減少しました。環境関連は、道路関連資機材の販売が増加しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高6,006百万円、営業利益417百万円となり、前年同期比、増収・減益となりました。

\*保険代理店BPO（Business Process Outsourcing）事業：個人向け保険業務の一環である顧客サービス業務（契約手続きやコールセンター業務など）の一部を受託する事業

ライフサービス事業 (金額単位：百万円)	前第2四半期 (平成29年4～9月)	当第2四半期 (平成30年4～9月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	5,857	6,006	102.5	148
営業利益	477	417	87.5	△59

③ リテール事業

当セグメントでは、主に空港店舗事業、免税店舗事業、免税店舗向け卸販売、通信販売、贈答用食品販売、外食業などを行っています。

空港店舗「BLUE SKY」は、航空旅客数の増加の一方で自然災害や一部店舗改装などが影響し、売上高は微増となり、販売費及び一般管理費が増加した結果、減益となりました。国内免税店舗（成田空港・羽田空港）及び免税店舗向け卸販売は、訪日外国人数の増加などにより、増収増益となりました。また、海外免税店舗（ベトナム ハノイ空港・ダナン空港）は、増収増益となりました。通信販売は、期初のシステム移行遅延などの影響で、減収減益となりました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高31,494百万円、営業利益1,978百万円となり、前年同期比、増収・増益となりました。

リテール事業 (金額単位：百万円)	前第2四半期 (平成29年4～9月)	当第2四半期 (平成30年4～9月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	27,504	31,494	114.5	3,990
営業利益	1,544	1,978	128.1	434

④ フーズ・ビバレッジ事業

当セグメントでは、主に水産物、農産物、ワイン、加工食品の販売などを行っています。

水産物は、水産加工品などの販売が増加しましたが、一部商品の取引形態変更に伴う売上減少などにより、減収となりました。農産物は、一部主力となる輸入野菜において生産国の天候不順などが影響し、減収減益となりました。ワインは、ブランド力のあるワインを中心としたホテル・レストラン及び小売業向け卸販売が増加しました。加工食品は、弁当類及び当社オリジナル菓子類の公共交通施設向け卸販売などが増加しました。また本年6月、タイにて日本生鮮卸売市場「トンロー日本市場」を開業し、その開業費用が発生しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高12,045百万円、営業利益454百万円となり、前年同期比、減収・減益となりました。

フーズ・ビバレッジ事業 (金額単位：百万円)	前第2四半期 (平成29年4～9月)	当第2四半期 (平成30年4～9月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	12,663	12,045	95.1	△618
営業利益	546	454	83.0	△92

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

中期経営計画達成に向けた重点施策の一つである航空機エンジン部品の販売が増加したことにより、売上債権が増加しました。一方で、たな卸資産が減少しました。

その結果、総資産は前連結会計年度末と比較して707百万円増加し、49,720百万円になりました。

(負債)

航空機エンジン部品の仕入債務が減少しました。一方で、未払費用及び借入金が増加しました。

その結果、負債合計は前連結会計年度末と比較して127百万円減少し、25,251百万円になりました。

(純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した結果、利益剰余金が増加しました。

その結果、純資産は前連結会計年度末と比較して835百万円増加し、24,469百万円になりました。

また、自己資本比率は1.0ポイント増加し、45.8%になりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末と比較して329百万円減少し、5,692百万円になりました。

各キャッシュ・フローの内容につきましては、以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権が増加し、仕入債務が減少しました。また、法人税等の支払いを行いました。一方で、たな卸資産が減少し、税金等調整前四半期純利益を計上しました。

その結果、営業活動により獲得した資金は694百万円（前年同四半期より2,933百万円収入減）になりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

空港店舗改装等に伴う固定資産の取得による支出を行いました。その結果、投資活動により使用した資金は413百万円（前年同四半期より137百万円支出減）になりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

運転資金の借入れを行いました。一方で、配当金の支払い、借入金の返済を行いました。その結果、財務活動により使用した資金は605百万円（前年同四半期より1,391百万円支出減）になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において通期の業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	6,027,362	5,696,710
受取手形及び売掛金	15,452,147	17,236,173
たな卸資産	13,181,691	12,660,209
その他	3,908,424	3,969,102
貸倒引当金	△24,468	△24,840
流動資産合計	38,545,156	39,537,355
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	4,735,748	4,501,693
無形固定資産	459,148	480,906
投資その他の資産		
その他	5,298,012	5,227,556
貸倒引当金	△24,634	△26,581
投資その他の資産合計	5,273,378	5,200,975
固定資産合計	10,468,276	10,183,575
資産合計	49,013,432	49,720,930
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	11,362,733	10,455,660
短期借入金	2,094,859	2,951,459
未払法人税等	1,005,360	837,287
未払費用	3,825,901	4,455,515
その他	2,718,159	2,963,102
流動負債合計	21,007,014	21,663,024
<b>固定負債</b>		
長期借入金	3,413,658	2,846,643
退職給付に係る負債	39,177	36,160
その他	919,045	705,358
固定負債合計	4,371,882	3,588,161
負債合計	25,378,896	25,251,186
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	2,558,550	2,558,550
資本剰余金	688,723	688,723
利益剰余金	19,191,298	20,021,792
自己株式	△134,809	△135,040
株主資本合計	22,303,762	23,134,025
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	21,679	34,908
繰延ヘッジ損益	△67,321	59,672
為替換算調整勘定	△260,703	△414,272
退職給付に係る調整累計額	△29,217	△19,071
その他の包括利益累計額合計	△335,563	△338,762
非支配株主持分	1,666,337	1,674,480
純資産合計	23,634,536	24,469,744
負債純資産合計	49,013,432	49,720,930

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	74,117,451	86,927,925
売上原価	62,146,332	73,582,941
売上総利益	11,971,119	13,344,984
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	760,834	824,983
給料及び手当	3,429,196	3,704,539
退職給付費用	122,311	127,158
減価償却費	253,137	225,211
貸倒引当金繰入額	△1,504	4,915
賃借料	2,146,983	2,392,864
その他	3,162,755	3,478,141
販売費及び一般管理費合計	9,873,715	10,757,814
営業利益	2,097,404	2,587,170
営業外収益		
受取利息	4,667	5,063
受取配当金	26,222	21,392
持分法による投資利益	216,597	229,359
その他	45,380	38,364
営業外収益合計	292,868	294,180
営業外費用		
支払利息	46,041	67,933
支払手数料	2,412	2,321
為替差損	23,215	67,758
その他	3,275	5,326
営業外費用合計	74,945	143,339
経常利益	2,315,328	2,738,010
特別利益		
固定資産売却益	797	871
その他	-	110
特別利益合計	797	982
特別損失		
固定資産処分損	913	39,918
固定資産減損損失	163,498	-
その他	5,470	3,542
特別損失合計	169,883	43,461
税金等調整前四半期純利益	2,146,242	2,695,532
法人税等	661,083	879,535
四半期純利益	1,485,159	1,815,996
非支配株主に帰属する四半期純利益	193,011	289,670
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,292,148	1,526,326

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,485,159	1,815,996
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,033	15,100
繰延ヘッジ損益	20,981	126,994
為替換算調整勘定	△99,572	△105,949
退職給付に係る調整額	7,795	10,146
持分法適用会社に対する持分相当額	1,777	△56,657
その他の包括利益合計	△27,985	△10,366
四半期包括利益	1,457,173	1,805,630
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,267,983	1,523,127
非支配株主に係る四半期包括利益	189,189	282,502

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,146,242	2,695,532
減価償却費	343,985	401,199
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,619	2,752
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△11,466	△12,278
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	373	△2,117
受取利息及び受取配当金	△30,890	△26,455
支払利息	46,100	67,933
為替差損益 (△は益)	△6,929	△35,546
持分法による投資損益 (△は益)	△216,597	△229,359
固定資産除売却損益 (△は益)	116	39,046
固定資産減損損失	163,498	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△887,000	△1,694,510
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△122,724	470,253
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,313,906	△841,622
前渡金の増減額 (△は増加)	140,531	△92,984
前受金の増減額 (△は減少)	191,411	155,494
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	350	△554
その他	218,390	682,518
小計	4,284,678	1,579,303
利息及び配当金の受取額	128,034	128,866
利息の支払額	△48,935	△67,928
法人税等の支払額	△735,155	△945,602
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,628,622	694,638
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△395,994	△232,029
有形固定資産の売却による収入	4,173	1,524
無形固定資産の取得による支出	△97,659	△166,446
投資有価証券の取得による支出	△147	△174
貸付けによる支出	△951	△960
貸付金の回収による収入	541	207
長期差入保証金増加による支出	△59,091	△47,806
長期差入保証金減少による収入	41,494	35,515
その他	△43,288	△3,256
投資活動によるキャッシュ・フロー	△550,924	△413,426

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,128,391	1,041,224
長期借入れによる収入	511,830	—
長期借入金の返済による支出	△550,315	△657,195
配当金の支払額	△629,351	△695,026
非支配株主への配当金の支払額	△180,000	△274,359
その他	△21,409	△20,467
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,997,637	△605,824
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,605	△4,500
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,082,665	△329,112
現金及び現金同等物の期首残高	6,213,875	6,021,572
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,296,541	5,692,460

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	航空・空港関 連事業	ライフサービ ス事業	リテール事 業	フーズ・ビバ レッジ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	28,636,508	5,793,572	27,471,970	12,215,400	74,117,451	—	74,117,451
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,923	64,237	32,565	448,559	556,286	△556,286	—
計	28,647,431	5,857,810	27,504,536	12,663,960	74,673,738	△556,286	74,117,451
セグメント利益	381,021	477,119	1,544,310	546,706	2,949,157	△851,752	2,097,404

(注) 1. セグメント利益の調整額△851,752千円には、セグメント間取引消去3,152千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△854,905千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「フーズ・ビバレッジ事業」セグメントにおいて、固定資産減損損失を計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては163,498千円です。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	航空・空港関 連事業	ライフサービ ス事業	リテール事 業	フーズ・ビバ レッジ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	37,986,172	5,938,502	31,465,749	11,537,500	86,927,925	—	86,927,925
セグメント間の内部売上高 又は振替高	644	67,705	28,915	507,992	605,258	△605,258	—
計	37,986,816	6,006,208	31,494,665	12,045,493	87,533,184	△605,258	86,927,925
セグメント利益	665,623	417,369	1,978,315	454,011	3,515,319	△928,149	2,587,170

(注) 1. セグメント利益の調整額△928,149千円には、セグメント間取引消去884千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△929,034千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。